



文部科学省 科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」

NEWSLETTER

 No.
27
 2022.3

岡山大学 ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室



Index

- 女性研究者派遣事業／令和3年度 利用者の声&上司の声 1
 第Ⅳ期 WTT 教員紹介／ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型） 中間評価結果／ダイバーシティ
 研究環境実現イニシアティブ（特色型）事後評価結果／ダイバーシティ&インクルージョンポリシーの制定 2
 イベント開催報告／支援制度紹介 3
 お知らせ／育児休業制度が変わります／「SDGs 推進表彰」優秀賞受賞／
 女性研究者のためのメンタープログラム／よろず相談プログラム 4



女性研究者派遣事業

本事業は、本学女性研究者を海外の大学・研究機関等に派遣し、研修並びに共同研究の機会を提供することを通じて、研究力の向上と今後の共同研究の継続・発展、研究者ネットワークの構築を進め、女性上位職となる候補者層を充実させることを目的とし、特に、若手女性研究者（准教授・講師・助教・非常勤研究員等）が本事業を通して実績を積み、上位職を目指すことを支援する事業です。

URL <https://www.okayama-u-diversity.jp/grant-support-activities/dispatch-project-female-faculty/>



令和3年度 利用者の声

【氏名】 ふじおか はるな 藤岡 春奈 【所属】 学術研究院環境生命科学学域（農） 【職名】 助教

女性研究者派遣事業に採択され、フリブル大学（スイス）に約半年滞在する機会をいただきました。コロナ禍の影響があり、さまざまな懸念点がありましたが、推進本部の方々の手厚いサポートのおかげで、無事に渡航することができました。渡航先は、アリの栄養交換研究で有名な LeBeouf 教授の研究室です。立ち上げられたばかりの新しい研究室でしたが、5カ国以上から20-30代の研究者が所属しています。研究面で刺激を受けたことはもちろんですが、お互いの文化の違いを話したり、同世代と研究者のキャリアについて相談したりと、とても新鮮で貴重な経験をすることができました。



私は、アリやハチなどの栄養交換という行動を研究しています。これは、胃に貯めた餌を吐き戻すことで、巣仲間と餌を共有する行動です。言葉にするとインパクトがありますが、実際にその行動を見ていると、昆虫たちがキスをしているように見えます。栄養の摂取はとても重要なため、この行動は、巣の存続と成長を行うために欠かすことのできないものです。留学中は、この栄養交換と社会性の進化の関係を明らかにするため、スズメバチを対象に研究をしています。複数種のスズメバチが日本に分布しており、採集や飼育の技術も発展しているため、そのリソースを生かし、今後も留学先で出会った研究者とともに研究を発展させていきたいと思っています。

上司の声

【氏名】 みやたけ たかひさ 宮竹 貴久 【所属】 学術研究院環境生命科学学域（農） 【職名】 教授

藤岡さんは2021年4月から日本学術振興会の特別研究員-CPD（国際競争力強化研究員）として、スイスのフリブル大学に留学することが決まっていた折に本学の助教として採用されました。女性研究者派遣事業のお陰で、この留学を中断することなく海外で研究を続けられたことはとても良いことでした。留学中でも岡山大教員としての研究をサポートできるダイバーシティ推進本部の支援は、若手教員の活躍を支える素晴らしい仕組みです。若い人が異なる文化のなかでの研究を体験できる機会はとても大切だと思います。今後もこのような海外派遣事業が継続・発展していくことを大いに期待します。

第Ⅳ期（令和3年度）WTT 教員紹介

ふかだ 史美
深田 史美

【所属】 資源植物科学研究所

【職名】 助教（特任）



【研究内容】 私たちが感染症にかかるのと同じように、植物も多種多様な病原体に侵され、病気にかかります。そこで植物は病気にかからないように、病原体に対して独自の免疫システムを発達させてきました。私は病気に強い植物を作ることを目的として、植物の免疫機構のメカニズムの一端を明らかにするために、分子生物学的手法を用いて研究を行っています。

【WTT教員になったの抱負】 私は学生の頃に「将来も研究を続けたい、でも周りを見渡すと女性の研究者は少ない。ということは女性で研究者になるのってとても難しいのでは？」と、志半ば研究の道を諦めかけたこともありましたが、しかしドイツに渡航して、プライベートも充実させながら活躍されている女性研究者を沢山目の当たりにし、私もこのようになりたい！と強く思いました。WTT教員として、周りの方と環境に感謝しながら良い研究を行うことで、岡山大学と未来の女性研究者のために貢献できればと思っています。

ダイバーシティ研究環境実現 イニシアティブ（先端型）

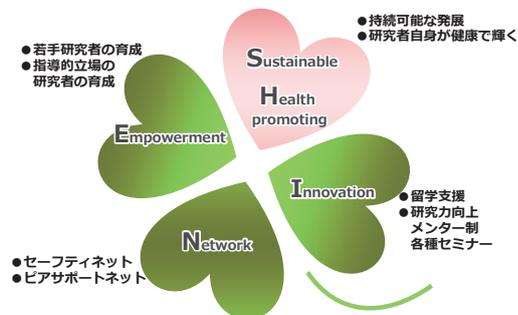
中間評価結果【S】

令和元年度に採択された文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」の中間評価が行われました。中間評価調査を提出後、ヒアリングが行われた結果、「総合評価S（所期の計画を超えた取組が行われている）」の評価をいただきました！

本事業では、「Sustainable Health Innovation with Network & Empowerment, SHINE」をコンセプトに、女性研究者のポストアップ促進とその候補者層の研究力向上を図ることを目的としています。これまでの取組を充実させ、事業目標を上回る達成度が得られるよう努めていきます。更に、女性研究者海外派遣事業を継続実施し、女性上位職の登用促進、候補者層の充実を目指してまいります。



概要



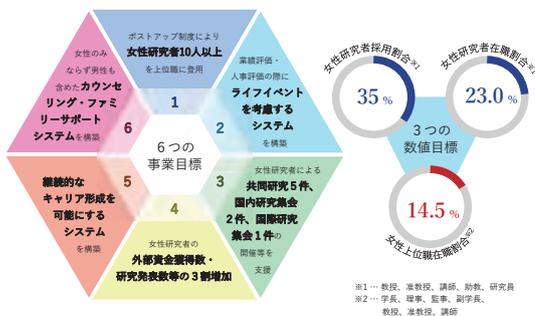
ダイバーシティ研究環境実現 イニシアティブ（特色型）

事後評価結果【S】

平成27年度に採択された文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」の補助対象期間が令和2年度に終了し、事後評価が行われました。これまでの取組をまとめた事後評価調査を提出後、ヒアリングが行われた結果、「総合評価S（所期の計画を超えた取組が行われている）」の評価をいただきました！

従来実施していた本学の男女共同参画の取組について本学の自動努力にて継続実施するとともに、新たに令和元年度に採択を受けた「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」の新たな事業を実施し、上位職の予備軍となるリーダーの育成をより一層図ってまいります。

本事業における事業目標・数値目標



〔岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシーの制定〕

新たに定めた岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシーのもと、ダイバーシティ研究環境実現を目指すとともにすべての構成員が輝くことのできるインクルージョンの推進を目指します。

岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー / 令和3年5月19日制定

岡山大学は、多様な属性・個性を持つ一人一人の構成員が互いの価値を理解し合い尊重し、それぞれの特性を活かして共に成長できる大学となります。そのために、ジェンダー、国籍、年齢、障がいの有無だけでなく、価値観、セクシャリティ、働き方等の多様性を認め合い、様々なステークホルダーと協働するための風土を醸成します。

このようなダイバーシティ&インクルージョンの実践により、大学組織の創造性、革新性、しなやかさをより一層高め、本学の目的である「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」を目指します。そして、サステナビリティとウェルビーイングを追求する研究大学として、新たな価値を創造し、誰一人取り残さない共生社会の実現に寄与します。

ここに本学は、「岡山大学ダイバーシティポリシー」（平成21年10月20日制定）を基盤に「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」を制定し、すべての構成員共通の価値と位置づけ、そのもとで行動していきます。

イベント開催報告

[おかやまサイエンス・ライブ 2021 on-line]

対象者 中学生・保護者・学校の先生等

中学生が、理系で活躍する研究者や大学院生と接しながら、理系分野の内容を体験することによって、多様な理系分野の魅力を知り、理系分野を身近に感じてもらうことを目指して企画されたプログラムです。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインで開催しました。



サイエンストーク&トライアル：2021年8月2日～7日配信

テーマ 電磁調理器をちょっとだけ深掘り！－電磁波もいづれecoに？－

講師 藤森 和博 准教授/学術研究院自然科学学域（工）



参加者の声

- ・電磁波は身近にあることがわかって面白かった。
- ・電子レンジの実験は子供にも身近でわかりやすかった。
- ・日頃見ることができない実験装置を見ることができて興味を持ちました。等々

サイエンス・ライブ：2021年8月7日ライブ配信

テーマ 教えて！博士！－大学の先生に聞いてみよう！－

講師

4名の研究者がライブ形式のトークイベントを開催。
 本田 恭子 准教授/学術研究院自然科学学域（工） 御輿 真穂 助教/学術研究院自然科学学域（理）
 宮崎 祐子 准教授/学術研究院環境生命科学学域（農） 藤森 和博 准教授/学術研究院自然科学学域（工）



参加者の声

- ・ノートの取り方や勉強の仕方はとても参考になりました。
- ・進路について沢山参考になることがあったので早速実践しようと思います。
- ・夏休みの自由研究についてなど、普段なかなか聞けない質問にも答えていただけて嬉しかったです。

[第12回中国四国男女共同参画シンポジウム]

非常事態の経験を通して、誰もが生きやすい社会を考える－多様性社会を実現するために－

日時 2021年11月11日（木）14：00～17：15 オンライン配信

講師 株式会社マザーネット代表取締役 上田 理恵子氏



「男女共に輝ける社会をめざして～子育て支援サービスの現場からの最新事情」と題して、女性が活躍できない日本の現状、何が女性活躍を阻むのか、子育てと仕事の両立に関して社員は何に困っているのかなどについて基調講演が行われました。

その後のパネルディスカッションでは、「セミナー等のイベント開催をめぐって」、「学生支援・女性研究者支援をめぐって」、「働き方再考：保育・在宅勤務から男女共同参画の未来を探る」という3つのテーマについて、中国四国地区の国立10大学をテーマ毎に振り分け、各大学から取組内容の紹介があった後、活発な意見交換が行われました。

男性も利用可

支援制度紹介

研究支援員事業

<https://www.okayama-u-diversity.jp/grant-support-activities/research-support-staff/>

出産・育児・介護を理由に、研究時間の確保が困難な教員及び非常勤研究員を対象に、研究者の研究補助業務に従事する研究支援員を配置する「研究支援員事業」を実施しています。本事業は出産・育児・介護等のライフイベントにより、一時的な期間また緊急的に支援が必要となる研究者へ研究支援員を配置する制度です。

出 産 妊娠中の者

育 児 小学校低学年までの児童を主として養育している者。

介 護 要介護者の家族を主として介護している者。

（お知らせ）令和4年4月からの利用については募集を終了しました。次回の募集は、令和4年6月24日～令和4年7月25日です。



ベビーシッター派遣事業割引券

<https://www.okayama-u-diversity.jp/grant-support-activities/babysitter-support/>

本学では、仕事と育児の両立支援の一環として、ベビーシッター派遣事業割引券を発行しています。

対象者 本学と雇用関係がある教職員で、配偶者の就労・病気療養・求職活動・就学・職業訓練等により、又は、ひとり親家庭であることにより、サービスを使わなければ就労すること（職場への復帰を含む。）が困難な状況である場合。

対象児童 乳幼児及び小学校3年生までの児童

割引券 1日（回）児童1人につき割引券2枚（@2,200×2枚=4,400円）まで利用可能



お知らせ

理系研究室のマネジメント

～風通しの良い研究室構築に向けて～

オンライン
配信

日時 2022年3月8日(火) 15:00～17:00

講師 中京大学 経営学部 教授 谷口 勇仁 氏

マインドフルネスを基礎から学ぶ

～「今の気持ち」「今ある身体状況」を
あるがままに知覚して受け入れる心を育む～オンライン
配信

日時 2022年3月15日(火) 10:00～12:00

講師 慶應義塾大学 医学部 講師 佐渡 充洋 氏

2022年4月から
育児休業制度が変わります!男性の育児休業取得率30%の達成に向けて、
仕事と育児の両立を支援します!

〈主な改正事項〉

- 1 有期雇用職員の育児休業取得要件の緩和
→雇用後1年未満でも育休取得可能に!
- 2 妊娠・出産(本人又は配偶者)の申出をした職員
に対する個別の周知・意向確認
- 3 産前・産後休暇等の有給化
→配偶者出産休暇、育児参加休暇等有給休暇に!



学内のSDGs活動を奨励する

「SDGs推進表彰 (President Award)」の優秀賞を受賞

学内の教職員や本学学生グループによるSDGs推進のための取組を奨励し、学内でのSDGs普及推進に寄与することを目的として、岡山大学SDGs推進表彰(President Award)制度が2020年度に創設されました。2021年度は、学内教職員や学生グループによるSDGsの達成を意識した取組について、「教育」、「研究」、「業務」、「学生グループ」の4分野に分けて募集があり、男女共同参画室では、その内の「業務」分野に「女性研究者のためのメンタープログラム」について応募した結果、優秀賞を受賞しました。この取組により、若手研究者の育成や本学の研究の活性化に繋がることも期待しています。

[女性研究者のための
メンタープログラムについて]

継続的に課題の解決をサポートします

赴任後間もない教員や研究者を目指す大学院生にとって、研究活動をはじめ学内での様々な活動やキャリア形成、進路への不安、心配など、相談相手が必要な場面に直面することがあります。そのような方々の不安や心配を解消し、将来への希望や勇気を持って活動するきっかけを得ることに少しでも貢献することを目的に、相談を希望する人(メンティー)に対して、相談内容や希望により相談を受ける人(メンター)を紹介し、継続的なメンタリングを行う「女性研究者のためのメンタープログラム」を実施しています。

対象者 本学着任後3年以内の女性教員、女性研究者(大学院生含む)

メンター Webサイトにメンターの名簿を掲載しています。(ご希望のメンターとメンタリングを行えない可能性もございますが、ご了承ください)

詳細についてはWebサイトをご参照ください。

URL <https://www.okayama-u-diversity.jp/consultation/mentor/>

[ダイバーシティよろず相談
プログラムについて]

迅速に課題の解決をサポートします

本学で活動する教職員や研究者(大学院生を含む)にとって、業務遂行、研究・教育活動、出産・育児・介護等、ワークライフバランスに関係する様々な問題に直面することがあり、一人では問題の解決が難しく、相談相手が必要な場合があります。そのような方々の不安や心配、問題を解消あるいは緩和し、充実した業務遂行やワークライフバランスの実現に貢献することを目的に、気軽に相談できる「ダイバーシティよろず相談プログラム」を実施しています。

【個別相談】

対象者 本学の教職員、研究者(大学院生含む)

アドバイザー Webサイトにアドバイザーの名簿を掲載しています。

詳細についてはWebサイトをご参照ください。

URL <https://www.okayama-u-diversity.jp/consultation/about-yorozu/>



問合せ

国立大学法人 岡山大学 ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号

TEL: 086-251-7011/7303 FAX: 086-251-7033

EMAIL: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp

WEB: <https://www.okayama-u-diversity.jp>